モリメイトの里山づくり

モリメイト通信

発行2025年4月 30 日
通算 274 号
三重県上野森林公園モリメイト
本気で遊ぼう！モリメイト

４月３日（木曜日） フジバカマを植えてアサギマダラを

【参加者；池本、越智宏、梶川、杉、芝田、鈴木哲、鈴木明、濱田、森浜牧　計9名】

花のテラスに、草を取り除き、土を耕し、腐葉土を入れ、丸太で囲って、花壇を作り、フジバカマ（来園者とモリメイトが持ち寄った）を植えた。

フジバカマは秋の七草のひとつとして万葉集にも出てくる日本人にも古くから親しまれている花だが自生するフジバカマは少なくなり準絶滅危惧種に指定されている。漢方薬にも利用され、乾燥すると桜餅の葉のような芳香を放つため、昔は匂い袋にも利用されたようである。フジバカマの仲間は世界で５００種以上あり、現在フジバカマの名で販売されているほとんどは日本の自生種ではなく雑種だそうである。

フジバカマは、アサギマダラという蝶のオスが好んで訪れる。まだ、よく解明されていないようだが、フジバカマに含まれる物質ピロリジジンアルカロイドの摂取が性フェロモンの分泌に必要だからといわれている。アサギマダラは旅をする蝶としても知られ、台湾や東南アジアなどから日本へやってくる。

鹿に食べられることなく成長し、アサギマダラが飛来する時を待ちたいと思う。

４月１０日（木曜日）桜が満開！フジバカマを植える

【参加者：池本、越智宏、梶川、木谷、杉、芝田、鈴木哲、鈴木明、森浜牧　計9名】

陽だまりの丘の桜が満開に。
毎年恒例、花見をしながらの弁当。
春風も心地いい❣

掲示板にモリメイトクイズとモリメイト日記を掲示

モリメイトフィールドにフジバカマを植える

４月17日（木曜日）風の砦から森林公園を見下ろす
コバノミツバツツジが森林公園をピンク色に

【参加者；池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明　　計9名】

うららかな春の日、「風の砦」まで散策。里山の春を彩るコバノミツバツツジが満開になり、森林公園のいたるところを明るくしてくれていた。

「風の砦」は太くて立派な柱が使われている展望台である。階段や床が腐り使われなくなっていたが、補修・補強が完了したので４月から登れるようになった。森林公園を見下し、ベンチで一休み。心落ち着くひと時であった。

その後、シイタケランドの新しい候補地を見に行った。夏場にコナラの大木が日陰を作ってくれると考えているのだがもう少し様子を見ることにした。

４月24日（木曜日）境界線巡りで春を満喫

【参加；越智宏、浦野、梶川、木谷、杉、鈴木哲、鈴木明、中、濱田、森浜牧、濱田　　計11名】

山笑う季節から緑滴る季節へと移りゆく頃である。淡い緑に包まれた森林公園の境界線巡りを行った。サブコテージの駐車場の奥からスタートし、去年の記憶とスマホ、境界線の標石を頼りに進んでいった。今年は、道に迷ったりはぐれてしまったりすることもなくスタート地点に戻ってくることができた。ゴール地点に近づく頃には、サクラの仲間であるがサクラらしからぬ白い小さな花が房状につくウワミズザクラや白い小さな花が平たくつけるガマズミの花、日の降り注ぐ小径の両側に群生するハルリンドウなどを見つけ、春を満喫した境界線巡りであった。

５月から始まる草との奮闘に備え、のんびりと春を楽しむ４月の活動であった。

ガマズミ

ウワミズザクラ

ハルリンドウ

小川のメダカ

ドウダンツツジ